

科目名 (科目番号)	公衆衛生看護学 概論 (076181)	教員名 麻生保子 他	学科等	看護	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		火・2限	麻生研究室	
授業概要	<p>地域で生活している人々の健康の維持・向上及びQOL向上のための看護活動としての公衆衛生看護学の基本的考え方や対象、目的、活動分野、方法等について学び、考える。</p> <p>公衆衛生看護学の概念やプライマリ・ヘルスケアおよびヘルスプロモーション等の理念、公衆衛生看護活動の歴史の変遷や公衆衛生看護職の役割と保健福祉行政等、公衆衛生看護に関する総論を学ぶ。</p> <p>関係する垂直軸:看護、生活環境</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション	到達目標:公衆衛生看護学の構成と、基本的な考え方について理解できる。 学習内容:公衆衛生看護学の理念と目的について学習する。				
	2	公衆衛生看護とは	到達目標:公衆衛生看護の対象と役割について理解できる。 学習内容:公衆衛生看護の活動の場と対象に応じた支援内容について学習する。				
	3	公衆衛生看護の基本概念(1)	到達目標:社会環境の変化と公衆衛生看護の関連について理解できる。 学習内容:健康の概念の変遷と公衆衛生看護活動の関連について学習する。				
	4	公衆衛生看護の基本概念(2)	到達目標:公衆衛生看護活動の展開方法について理解できる。 学習内容:プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの考え方を学習する。				
	5	公衆衛生看護活動論(1)	到達目標:活動対象としての地域(コミュニティ)について理解できる。 学習内容:地域診断の意味と方法を学習する。				
	6	公衆衛生看護活動論(2)	到達目標:人々の健康に影響を与える様々な要因について理解できる。 学習内容:身近な事例やニュースから健康への影響について学習する。				
	7	公衆衛生看護活動論(3)	到達目標:人々の生活の質向上を目指した組織的取り組みについて理解できる。 学習内容:保健医療福祉における事業化と施策化について学習する。				
	8	公衆衛生看護活動論(4)外部講師	到達目標:個人・家族・集団・地域を対象とした公衆衛生看護活動を考えることができる。 学習内容:市町村保健師の活動内容について学習する。				
	9	公衆衛生看護活動論(5-1)	到達目標:保健師の個別のアプローチの方法を理解できる。 学習内容:公衆衛生看護活動事例から保健師活動について学習する。				
	10	公衆衛生看護活動論(5-2)	到達目標:保健師の個別のアプローチについて理解を深める。 学習内容:個別事例の読み取りをグループで行い意見交換を行う。				
	11	公衆衛生看護活動論(6)	到達目標:保健師の集団的アプローチの活動方法について理解できる。 学習内容:ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて学習する。				
	12	公衆衛生看護活動論(7)	到達目標:保健師の集団的アプローチの活動方法について理解できる。 学習内容:グループ活動、住民参加、セルフヘルプグループについて学習する。				
	13	公衆衛生看護管理	到達目標:地域ケアの質保証としての公衆衛生看護管理の役割を理解できる 学習内容:公衆衛生看護管理の目的と機能、法的根拠、研究による裏付け等について学習する				
	14	社会環境の変化と健康課題	学習内容:日本における公衆衛生看護の歴史について学習する。 到達目標:日本における公衆衛生看護の歴史の変遷について理解できる。				
15	公衆衛生看護活動の展望	学習内容:公衆衛生看護における国際協力や今後の課題について学習する。 到達目標:今後の公衆衛生看護活動の課題と展望について理解できる。					
成績評価の方法・基準	演習の発表と記録(評価表に基づく)10%、期末試験90%で総合的に評価する。						
教科書	《標準保健師講座1》 公衆衛生看護学概論(第5版)		標 美奈子他		医学書院		
参考図書							
教員からのメッセージ	公衆衛生学をベースとして看護学を統合した科目となります。具体的な看護活動につながる用語や概念が多く出てきますので、事前・事後の自己学習をが重要です。積極的な授業参加を期待します。						